

ブランク作業の類似作業における墜落死亡災害概要(平成20年～平成24年)

No.	発生年月	発生場所	業種	概要
1	平成20年2月	北海道	その他の建設業	被災者は発電所内の照明灯の角度調整作業を行った後、照明灯を降る際に足を滑らせ、地上から約16mの高さの位置で宙吊り状態になった。ただちに高所作業車及び救急車を配備して救助したものの、意識が回復しないまま死亡した。
2	平成20年9月	山梨 (法面)	土木工事業 (砂防工事業)	急斜面で、ケーブルクレーンで吊られてきた丸太にまたがり、組立固定しようとしていたとき、ワイヤーが切れ、丸太とともに滑落した。 なお、被災者は親綱から安全帯を外していた。
3	平成21年2月	山梨 (法面)	土木工事業 (その他の土木工事業)	切り株を法面に沿って切り下げる作業中、移動する際に足を滑らせとつさに親綱に掴まろうとして、グリップ部分を握ったため、グリップが親綱から抜けてしまい転落した。
4	平成21年7月	新潟 (法面)	土木工事業 (その他の土木工事業)	法面の吹付モルタルの補修中、親綱がゆるみ転落した。 なお、被災者は、安全帯、グリップ、補助グリップを装着し、体を親綱に緊結し、親綱はアンカーに固定されていた。
5	平成21年8月	長野	その他の建設業 (電気通信工事業)	鉄塔の地上74メートル付近の面梯子において緊線作業中、踊り場に墜落した。 なお、被災者は鉄塔のエスコートレールに胴綱・リス(墜落防止用安全器具)を装着したまま、エスコートレールに沿って墜落した。
6	平成21年10月	新潟	建築工事業 (その他の建築工事業)	鉄塔から降塔中に、鉄塔踊り場に墜落した。 なお、被災者は安全帯を装着していたが、胴綱のフックはフリー、補助胴綱は左側D環にかかっていた。
7	平成21年10月	北海道	土木工事業 (その他の土木工事業)	集水井掘削完了に伴い、補強部材であるH型鋼を取り付けるため、被災者が集水井頂部より親綱、安全グリップを使用し、集水井内部に進入したが、頂部から約2m下降したところで親綱が切断し、グリップと共に約33m落下した。
8	平成21年11月	山梨 (法面)	その他の土木工事業	落石防止工事において、アンカー施工のための掘削機を運搬していたが、移動する際に親綱を換えようと安全帯(グリップ)を外したところ、バランスを崩し、高さ約60メートルの斜面を転落した。
9	平成21年11月	島根	その他の建設業	配電線路接近樹木伐採作業において、地上8メートルの高さで枝をかわすため、胴綱を打ち替えた際に、墜落した。

ブランク作業の類似作業における墜落死亡災害概要(平成20年～平成24年)

No.	発生年月	発生場所	業種	概要
10	平成22年9月	北海道	建築工事業 (鉄骨・鉄筋コンクリート 造家屋建築工事業)	鉄塔除去工事において、高さ25mのプラットホーム床撤去作業を行っている時、プラットホーム床部分を荷卸しのためクレーンで吊り込んだ際、床材と床受け材が引っかかり止まったため、被災者が墜落防止の移動ロープを装着して引っかった場所まで移動したところ、ロープを装着したまま25m下に転落した。 移動ロープは親元の固定部が緊結されていない状態であった。
11	平成23年1月	兵庫 (法面)	土木工事業 (砂防工事業)	地上より約5メートルの法面でアンカーピンの削孔作業をしていたところ、ハンマードリルが故障したため地上へ降りようとしたが、片手でグリップ操作が出来ないことからグリップを外して親綱を手で持って降りる際、綱にハンマードリルが引っかかり、それを外そうとして転落した。
12	平成23年1月	兵庫 (法面)	土木工事業 (砂防工事業)	治山復旧工事において、斜面を滑落し、約18メートル下方の林道上へ落下した。 被災当時、被災者は安全帯は着用していたものの、グリップは外していた。
13	平成23年12月	青森	その他の建設業 (電気通信工事業)	無線局の鉄塔上でケーブル撤去作業のため、垂直ラダー部にて、キーロック式の移動ロープを差し替え中、地上高31m付近から墜落した。
14	平成24年6月	山口 (法面)	土木工事業 (その他の土木工事業)	落石防護網設置作業中、滑落した。 なお、親綱が近接された位置にあったが、被災者は安全帯を未着用であった。

資料出所:労働者死傷病報告